

Press Information

超低伝搬遅延、1.5GHz デュアル ECL/PECL 2:1 マルチプレクサ

MAX9384 は、デュアル、低スキュー、完全差動 LVPECL/PECL/LVECL/ECL 2:1 マルチプレクサです。MAX9384 はマキシムの高速 LVECL/LVPECL マルチプレクサファミリの最新メンバとして、クロックとデータ冗長性、及び多重化回路用に設計されています。アプリケーションには大容量ストレージサーバ、DSLAM、基地局、自動検査装置、電話局交換機、ネットワーク交換機/ルータ、及び低ジッタ(0.8ps RMS(max))、追加ランダムジッタ、70p_{SP-P}の確定的ジッタ(1Gbps PRBS パターン)が信号の完全性のために重要となるその他の通信アプリケーションなどがあります。

MAX9384 のデュアル 2:1 マルチプレクサは、個別又は同時に選択することができます。入力マルチプレクサにより、差動 LVPECL 又は LVECL 入力信号のいずれか 1 つが選択され、出力でそれが反復されます。

MAX9384 は PECL(5V)又は LVPECL(3V)システムで 3V ~ 5.5V の広い電源電圧範囲で動作し、LVECL(-3V)及び ECL(-5V)システムでは-3V ~ -5.5V で動作します。差動出力は工業用拡張温度範囲(-40 ~ +85)において 1.5GHz の最小スイッチング周波数で 300mV 以上が保証されています。MAX9384 は 20 ピン SOP パッケージで提供され、MC100LVEL56 及び MC100EL56 のピンコンパチブル上位置換です。

パッケージ情報については MAX9384 データシートを参照してください。